

3.11 東日本大震災から、未来への教訓を学ぶ 今考えたい、これからの防災

セミナーの主旨

東日本大震災は、多くの人命を奪い、地域社会に壊滅的な被害を与えました。この経験や教訓を人類共通の遺産として伝承し、安全な社会を構築することが現世代の責任です。本セミナーは、関西学院大学サイエンス映像研究センターを中心とした専門家のグループが開発に取り組む、防災教育のための電子図鑑制作、防災グッズ、防災教育のためのサマースクールをテーマに、「これからの防災について」新たな取り組みに着手されている、研究者、教育機関、企業、行政の方々を招き、広く議論する場を提供していく試みです。

■日時

2012年 6月8日 金 18:30—20:30

■場所

関西学院大学 大阪梅田キャンパス
(K.G. ハブスクエア大阪)



津波に飲み込まれた大船渡市



ボランティアによる支援活動(遠野市)



被災後の陸前高田市街

18:30—18:50 「ビデオメッセージ」



佐々木 良麻 Sasaki, Ryoma

マルチプル電子図鑑(株) 遠野本社スタッフ
1985年生まれ。陸前高田市出身。2008年神奈川大学卒業後、2010年より陸前高田市役所にて臨時職員として奉職。休日に被災し、津波による庁舎浸水被害から逃れる。ボランティア活動を経て、2011年より現職。

東日本大震災の後方支援基地として被災地を支えた、岩手県遠野市に昨年12月に設立された、マルチプル電子図鑑(株)。関西と被災地の20代、30代の若手を中心となり、震災の体験を風化させないための活動を展開しています。

18:50—19:40 「防災教育の近未来を構想する ～防災マルチプル電子図鑑の取り組み～」



タブレット端末を活用した新しい防災教育を考案

畑 祥雄 Hata, Yoshio

関西学院大学総合政策学部 メディア情報学科 教授
同大学サイエンス映像研究センター長

動画を見ることで災害現場を疑似体験し、どう動けば身を守るかを学ぶ「防災マルチプル電子図鑑」。防災教育の教材として、秋には全国の小中高約100校でモニタリングが開始されます。開発の現場から近未来の防災教育のキーワードを探ります。

19:40—20:10 「防災生活でいのちを守る ～身近に備える対策グッズ～」



山本 富造 Yamamoto, Tomizuo

山本化学工業(株) 代表取締役社長

防災に関する意識が特に高まっている現在、今一度、身を守り、家族を守り、家を守る備えを確認する必要があります。人間は、「想定外」の自然災害には無力かもしれませんが、1つでも多くの防護策をとることは、大切なことです。

20:10—20:30 質疑応答

関西学院大学 サイエンス映像研究センター HP <http://kg-svr.net/>

応募資格 特になし

受講料 500円(資料代)

募集人員 50名(先着順)

応募方法 メールまたはお電話

〒住所(連絡先)、氏名・ふりがな、年齢、職業(勤務先)
[学生の場合は学校名及び学年] 電話番号を明記の上、
申し込んでください。

応募先 宝塚メディア図書館内サイエンス映像学会 事務局

電話 0797-76-5720 電子メール svsjimu@gmail.com

主催 関西学院大学サイエンス映像研究センター

協力 サイエンス映像学会・防災マルチプル電子図鑑制作委員会・山本化学工業(株)



開催場所のご案内

関西学院大学 大阪梅田キャンパス (06)6485-5611

大阪市北区茶屋町 19-19 アプローチタワー 14階(受付は10階)

経路のご案内

- 阪急「梅田駅」茶屋町口改札口より北へ徒歩5分。
- JR「大阪駅」御堂筋出口から徒歩10分
- 地下鉄御堂筋線「梅田駅」から徒歩7分、「中津駅」から徒歩4分
(最寄り施設はホテル阪急インターナショナル、梅田芸術劇場)

防災教育

iPadなどのタブレット端末を活用する、まったく新しい防災図鑑

防災マルチプル電子図鑑

『防災マルチプル電子図鑑』は、防災を生活の一部としてとらえ、心構えていくことの大切さを、豊富な写真と映像を通して自分の五感で体感していくための、図鑑アプリです。年々、大災害が増加し、被害も拡大している中で、いつどこで災害に遭っても家族や同僚を守るためには何をすればよいのか。災害のメカニズムを知り、適切な危機管理能力を身につけることができます。



防災マルチプル電子図鑑制作委員会 会員企業募集中

「防災マルチプル電子図鑑」制作事業で得られた利益は、原則、災害デジタルアーカイブを活用した電子出版等を通じた被災地の経済復興や同分野を担う専門的な人材育成に資する社会事業に再投資するとともに、収益の一部は被災地および日本全国、世界の子どもの防災学習のためのプログラムに寄付します。本社会事業を通じて被災地の復興支援と日本の新たな地方再生、さらに新たな国際貢献に取り組みます。

問い合わせ先：
防災マルチプル電子図鑑制作委員会
(サイエンス映像学会事務局内)
e-mail: svsjimu@gmail.com
TEL:0797-76-5720 FAX:0797-76-5725

防災グッズ

災害避難用複合ウェア

世界初の災害避難ウェア バイオラバーセーフ

命を守る安全にこだわって、全てに対応したハイブリッドウェア



保温効果を最大限に活用できるスタイル



インナージャケットを収納してスッキリ着用



バイオラバーセーフ
安全ハイブリッドウェア
39,900円(税込)

衝 水 寒 伝

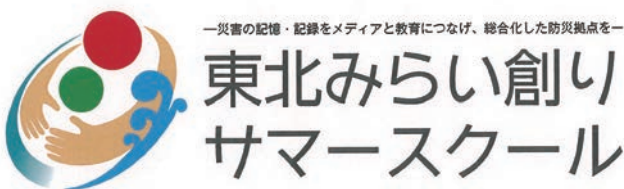
安全ハイブリッドウェア

- ・津波に克つ
- ・ゲリラ豪雨に克つ
- ・寒さに克つ
- ・衝撃に克つ
- ・安否確認のスピードアップ

<http://www.bp-tech.jp/products/other/biorubbersafe.html>

防災サマースクール

東北みらい創りサマースクール 岩手県盛岡市にて開催 参加者募集中!!



—災害の記憶・記録をメディアと教育につなげ、総合化した防災拠点を—

東北みらい創り サマースクール

災害の教訓を次の世代へ

主催：東北みらい創りサマースクール実行委員会

- 実行委員長 伊藤憲三 (岩手県立大学教授)
 実行副委員長 堺茂樹 (岩手大学教授)
 畑祥雄 (関西学院大学教授)

日時：2012年8月17日[金]ー19日[日]

会場 盛岡アイーナ

対象者 小・中・高等学校教員、防災や復興教育にかかわる研究者や行政、NPO、メディア関係者、ボランティア、学生など

お問合せ サイエンス映像学会事務局

e-mail: svsjimu@gmail.com
TEL:0797-76-5720 FAX:0797-76-5725

